

水ビジネスの新潮流

5

世界の水ビジネス市場で、新興国であるシンガポールや韓国の活躍が目覚ましい。技術も水ビジネスの歴史もない両国がなぜ短期間でリーダーシップを持つようになったのか、彼らの戦略について述べてい。

シンガポール

かつてシンガポールでは、国内の水需要の50%以上を隣国マレーシアから長期契約で輸入していた。しかし00年、新たに水購入契約更新の予備交渉に臨んだ際、マレーシアからそれまでの購入額の約100倍(最近は20倍まで低下)を請求された。長年にわたってマレーシアに自国への淡水供給を依存していただけに、シンガポール政府は「これは国家存亡の危機である」と認識し、国家的プロジェクトとして水源の確保に乗り出した。

具体的には、海水の淡水化、雨水回収、下水の再利用、海を仕切って淡水の貯留湖を作る、などである。政府はこれを「ニューウォーター(新生水)計画」と名付けた。03年にERC(経済再生委員会)の勧告により水産業を育成「シンガポールは世界のウォーターハブになり、18年ま

でに世界市場の3〜5%を確保」することが国家目標として打ち出された。その目標達成のために約200億円の投資も発表。その政策を加速させるために、水に関する関係省庁を一元化、04年に水資源や水処理施設を統括管理する PUB(公益事業庁)を設立、内外の水処理会社やコンサルティンク会社、国際的な水研究機関、すなわち世界中の産官学と共同開発や実証試験を始めた。

PUBは独立採算制で、水に関する権限のほとんどが与えられているため、よいアイデアや事業採算性が見込めるなら即スタートである。このように意思決定が迅速であり、海外からの水関連会社が、直ちに水プロジェクトに参加できるワンストップショップを担っている。

さらに将来の人材育成を目指し、シンガポール国立大学や南洋理工大

新興国の戦略

企業と資金が集中 さらに成長を加速

の教授、学生を積極的にこのプロジェクトに参加させている。また海外の有力企業の法人税を無税にしたり減免することに より、シンガポールに支店や研究拠点を設けさせ、そこにシンガポール人を送り込み、「技術開発」「人材育成」、ビジネスの「国際化」を同時並行的に推進している。

このようにして育成された代表的企業に、オリビア・ラム女史率いるハイフラックス、ケペル、

ンガポール企業で手がけたい」と話している。事実、昨年6月に開かれたシンガポール国際水週間の場では「リビア政府から世界最大級の海水淡水化プラント(50万ト/日)、概算660億円の受注を発表している。マレーシアから100倍も水価格を突き付けられ、水資源確保に係る技術開発をスタートしてわずか10年。この短期間のうちにシンガポールが水処理技術を習得し、世界に打って出ることができたのは「明るい北朝鮮」と呼ばれる強力な国家統制による市場開放と積極的な外資導入、そして世

界中に広がる華僑人脈活用のおかげであろう。

韓国政府は約50億円の支援し、国内水企業の育成や海外の技術情報入手に意欲的に取り組んでいる。04年韓国環境省は先進的水処理技術開発に関する研究開発事業(Eco-STAR)、また05年には水資源公社にて水処理膜の開発事業(SMART Project)を立ち上げ、16年には海水淡水化に係る国家プロジェクト(SEA HERO)を立ち上げた。この予算規模は約160億円、研究期間が5年8カ月、500人の研究者と矢継ぎ早に政策を打ち出している。国家目標は現在1兆ウォン(約8400億円)の内水関連市場を、15年までに2兆ウォンに育成し、その過程で得られた知見、ノウハウで持って世界で活躍できる韓国企業を2つ以上育成することを発表している。水産業育成5カ年計画であり、シンガポールの成功に続くようとしている。

さらに09年1月、李大統領が打ち出した「韓国版グリーンニューディール政策」では、国内4大河川の改修、上下水道施設の整備増強が織り込まれている。また、環境部が中心となり、韓国環境技術振興院、水処理先進化事業団、水資源公社、ソウル大学などが産学官を挙げて水産業育成のプロジェクトを推進している。特に海水淡水化分野では、ドソン(Doosan)の活躍がめざましく、00年からの世界海水淡水化市場で第3位にランキングしている。

昨年8月に「世界都市水フォーラム」が仁川市で開催され、筆者も招待参加している。50カ国から専門家が5千人参加。この国際会議で韓国政府は「4大河川の整備で2兆ウォンを投資し、40兆ウォンの経済効果と28万人の雇用を創出し、さらに国を挙げて水関連産業を発展させ、世界に羽ばたく韓国になりたい」と力強く宣言している。

シンガポールや韓国のように活力や成長力のある国には、世界的な企業と資金が集まり、さらに成長が加速する。そうでない国(日本)は企業もお金も素通りしさらに活力を失っている。

グローバルウォーター・ジャパン

代表

吉村 和就

PUB高官は「3年以上、世界の水プロジェクトのうち5千億円はシ

ンガポールを代表するハイフラックスは、すでに天津で中国最大級の海水淡水化装置(10万ト/日)や瀋陽市工業団地の排水処理を受注している。さらに中近東諸国では、10兆円の規模と言われる海水淡水化プロジェクトに参画している。